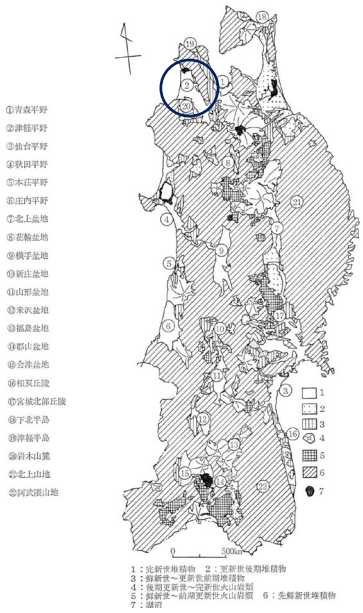
2.津軽平野



地形・地質

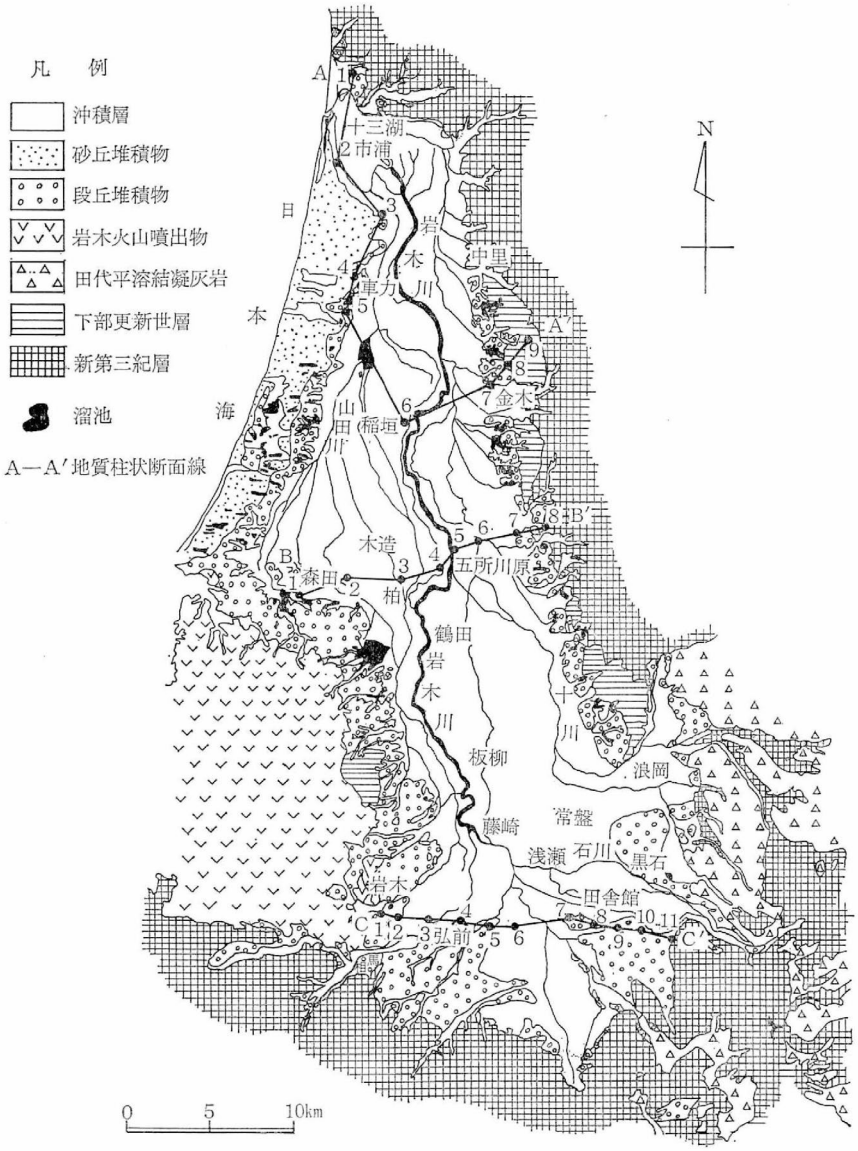
津軽平野は，青森県の西部に位置し，奥羽山脈と岩木山に囲まれ、岩木川が平野のほぼ中央部を北流し，十三湖に注いでいます。津軽平野は五所川原市付近を境として，南津軽(弘前)平野と北津軽平野に二分され、地質や地下水の利用が異なります。

津軽平野周辺の地質対比表

				津軽低地	屏風山砂地	五所川原西方	弘前地域	黒石地域	浪岡地域	金木地域
第四紀	完新世		XIII	十三湖累層	屏風山砂丘砂 / 海岸砂 / 出来島段丘砂		(自然堤	防) 氾濫	原堆積物	
	更新世	後期	XII	五所川原砂礫層	?	? 岩木火山噴出物	?	? 落合礫層	?	?
				高根段丘礫層				八戸火山灰 / 下山形礫層	八戸火山灰	喜良市段丘堆積物
			XI	山田野層	山田野層	山田野層	山田野層	葛川礫層	浪館段丘堆積物	山田野層
		中期	X						山内火山灰 / 豆ノ坂段丘堆積物 ?	相内層
			IX							
		前期	VIII					田代平溶結凝灰岩 / 井戸沢礫層	田代平溶結凝灰岩	
					黄金山層	黄金山層	黄金山層 / 弘前湖盆層		前田野目層 / 岡町層	川倉層
第三紀	鮮新世	後期	VII				高野石英安山岩	安山層	鶴ヶ坂層	立山層 / 鶴ヶ坂凝灰岩層
		中期	VI		鳴沢層	鳴沢層	東目屋層	大釈迦層	大釈迦層	味噌ヶ沢層
	中新世	後期	V		舞戸層	舞戸層	大秋層	竹館層	大滝沢凝灰岩部層	不動の滝層
			IV		赤石層		松木平層 / 相馬安山岩部層	温湯層	王余魚沢層	源八森層 / 清水股沢層
			III		大童子層		大和沢層	板留層	都谷森山層	馬の神山層

地下水

不圧地下水は砂丘・段丘・平野部で，浅井戸により容易に得られます。被圧地下水のうち洪積層の地下水は天然ガスや鉄分を有し，水質が不良の場合が多く，下位の新第三紀鮮新世の地層に帯水層を求めている場合が多い。浪岡町から中里町にかけての丘陵地帯に分布する大釈迦層や同層相当層はすぐれた帯水層を形成しています。



津軽平野の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）